

3カ国つなぎ「自然」紹介

田んぼで鬼ごっこ・野草の天ぷら

日本、マレーシア、ブラジルの3カ国をインターネットのテレビ電話で結び、子どもたちが自国の自然を紹介しあう「NEC世界子ども自然クラブ」が22日、北杜市大泉町の「八ヶ岳自然ふれあいセンター」を日本側の会場にして開かれた。

子どもたちに環境問題を学んでもらおうと、同市高根町の財団法人キープ協会とマレーシアのサバ州森林局、ブラジルのマツトグロソ・ド・スル連邦大学が主催した。計71人が参加した。ブラジルの子どもたちは、原生林を守るための植樹活動を報告。日本の子どもたちは田んぼ

北杜 テレビ電話で子どもたち

で鬼ごっこをしたり、野草を天ぷらにして食べたりした体験を発表した。マレーシアの子どもたちは、森の木を切られて保護

されたオランウータンの話を紹介した。

韮崎市旭町から参加した宮島まどかさん(12)は「めったに話す機会がない遠い国の友達と話ができ、世界が広がった」と話していた。



テレビ電話で、折り紙で作った野草の天ぷらをつまんでみせる日本の子どもたち。北杜市大泉町